

特別企画

Worldwide Collection ~世界を目指せよ~

世界のさまざまな地域の映像制作環境が色濃く反映された 4 作品を厳選。ストーリーを楽しむだけでなく、作品の背景から、映像作りにおける各地域の特色も知ることのできる企画内容となっています。世界の学生映画それぞれ独自の魅力を見つけることで、新たな映画体験を楽しめませんか。



<特別招待>

大学院で映画をつくる！一芳泉文化財団助成作品集－

大学院で映画づくりを学び、次世代の日本映画の担い手を目指す学生たちの映画制作を助成してきた芳泉文化財団。ここでは 2013 年度に助成を受けた、東京藝術大学大学院映像研究科の 2 作品（ヤングポール監督『BRAKEMODE』写真左、松井一生監督『ユラメク』同右）を上映。テーマもスタイルも対照的な 2 作品をお楽しみください。

京都企画～支配人より愛を込めて～

京都の学生映画の“今”を知るために、京都で活躍している気鋭の学生映像作家の作品を上映します。そして、才覚溢れる学生映像作家と、全国的に有名な京都のミニシアター＜京都シネマ・立誠シネマ・京都みなみ会館＞の支配人たちとが、現在と未来を軸に京都の学生映像作家の歩む道をそれぞれの視点から見つめていく企画となっています。



授賞式・グランプリ作品上映

11/27 Fri. 18:00 ~ 21:30

映画祭を締めくくる授賞式では、実写部門・アニメーション部門のグランプリ作品を発表・表彰・上映、最終審査員と受賞監督によるトークショーを行います。「シーンに込められた意味」「作品を通しての監督からのメッセージ」など、ここでしか聞くことのできない監督のこだわりが垣間見えることでしょう。また、来場者の皆さまからの質疑応答の時間も設けております。作品制作時の貴重な裏話なども聞けるかもしれません。最終審査員賞、開催期間中皆さまにご投票いただく観客賞の発表・表彰も行います。



個人サポーター募集

私たちと一緒に京都国際学生映画祭を盛り上げましょう！

○一口 1,000 円から

○募集締切：2015 年 11 月 17 日（火）

○連絡先：info@kisfvf.com

詳しくは公式 Web サイト (<http://www.kisfvf.com>) をご覧ください。

新規実行
委員募集中

京都シネマ (COCON 烏丸 3F) TEL 075-353-4723

市バス「四条烏丸」徒歩すぐ
地下鉄烏丸線「四条」駅 2 番出口
阪急京都線「烏丸」駅 23 番出口

お問い合わせ
第 18 回京都国際学生映画祭実行委員会

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下ルキャンパスプラザ京都（月曜休館）
TEL : 075-353-9430 / MAIL : info@kisfvf.com



第18回 京都国際学生映画祭

Kyoto International Student Film & Video Festival 2015

2015.11/21 SAT. - 11/27 FRI.

11/21, 22, 25 ①16:45~18:55 ②19:25~21:30 (22 日のみ ~21:10)

11/23, 24, 26 ①16:45~18:30 ②19:00~21:10

11/27 18:00~21:30 授賞式・グランプリ作品上映



会場 京都シネマ (四条烏丸下る西側 COCON 烏丸 3F)

TEL 075-353-4723

料金 1 プログラム券 (前売・当日) 500 円

フリーパス券 (前売) 1,000 円／(当日) 1,500 円

公式 Web サイト <http://www.kisfvf.com>

公式ブログ <https://kisfvf.amebaownd.com>



【主 催】 公益財団法人大学コンソーシアム京都

【企画運営】 第 18 回京都国際学生映画祭実行委員会

【運営支援】 京都国際学生映画祭企画検討委員会

【特別協力】 京都シネマ

【助 成】 芸術文化振興基金 、一般財団法人ニッシャ印刷文化振興財団

【物品協賛】 ブラックマジックデザイン(株)

【後 援】 京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都新聞、朝日新聞京都総局、毎日新聞京都支局、読売新聞京都総局、産経新聞社京都総局、日本経済新聞社京都支社、中日新聞社京都支社、NHK 京都放送局、KBS 京都、a-STATION エフエム京都、FM802、近畿経済産業局、国際交流基金京都支局

【協 賛】 (株) AOI Pro.、(株) ディレクターズ・ユニブ、公益財団法人芳泉文化財団、立命館大学 映像学部、(株) 京都アニメーション、キョーワファシリティーズ(株)、(株) おいかけ、大学生協京滋・奈良ブロック、(株) VCC 企画、京都府生活協同組合連合会、ジュネス法律事務所、(株) ビズリーチ、(株) ミラノ工務店

AOI Pro. directors'univ Blackmagicdesign

キョーワファシリティーズ株式会社 株式会社 おいかけ



R RITSUMEIKAN

Kyoto Animation



ジュネス法律事務所 Jeunesse Cabinet d'Avocat

MILANO

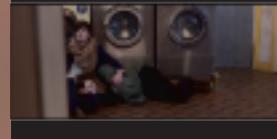


コンペティション Competition

今年度は、世界各国から学生が制作した実写映画（映像作品含む）、アニメーションが18か国・217作品集まりました。その中から学生実行委員が厳選した15作品を上映します。また開催期間中は、入選監督によるトークショーを予定。さらに、最終日の授賞式では、映像業界の専門家を交えた最終審査会で決定したグランプリ作品を発表します。

プログラム A 90min

New World



Luzie Loose
Filmakademie Baden-Wurtemberg
2014/ドイツ/25min<実写>

カラーラは、姉のジーンが恋人のオーレリアンと一緒にパリからニューヨークへ引っ越そうとしていることを知る。彼女は大好きな姉を自分だけの世界に留めておくため、2人の恋仲を引き裂こうと捨て身の作戦に出る。彼女の行動は自己満足なのか、それとも愛なのか。

mind scape



梁佳緒里 /Kaori Ryo
東京藝術大学大学院
2014/日本/6min<アニメーション>

日常で遭遇する何気ない情景から頭の中に生まれたものたち。思い描かれては積み重なっていく空想世界の集合体。

Cachorro Loko



Igor Shin Moromisato
Academy of Media Arts Cologne
2015/ドイツ/5min<アニメーション>

渋滞は街全体を停止させる。バイクに乗るブラジルの「気が狂った子犬」だけは、停車中の車を素早く追い抜かしていく。しかし、全てが上手いくわけではない…。

ゴロン、バタン、キュー /Goron • Batan • Q



山元環 /Kan Yamamoto
大阪芸術大学
2014/日本/54min<実写>

淀川河川敷でブルーテントに暮らす“あたる”と“佐々木さん”。過酷な中だが2人笑って生きている。ある日、自転車が壊れて困っている女性“とのこ”と出会う。そこに“あたる”的父、“常弘”的手によって壊される“あたる”達の家。住みどこを失くした2人はどう生きるのか…。

プログラム B 91min

Fidelity



Ilker Çatak
Hamburg Media School
2014/ドイツ/24min<実写>

2014年、イスタンブール。反政府運動が勢いを増す中、病院に勤務する女性アスリは、警察に追われる若い男性活動家の逃亡の手助けをする。彼女を疑い、家を訪ねてきた警察。捜査に協力しようとはしないアスリだが、事態は彼女の家族も巻き込んで悪化していく…。

その家の名前 /A Place to Name



坂上直 /Ataru Sakagami
東京藝術大学大学院
2015/日本/4min<アニメーション>

そこはかつて祖父母が、両親が、僕が住んでいた場所。遠い記憶と感情を忘れてしまっても、確かにそこに存在し、これからもあり続ける。

Laughter in the Dark



Marta Trela
Łódź Film School
2014/ポーランド/14min<実写>

年上の男と年下の女の有毒な関係性。2人から発せられるネガティブな感情が予想外の出来事を誘発し、彼らの周りの人々に影響を与えるようになる。

CAMEO'n Me



宗俊宏 /Toshihiro Soh
武蔵野美術大学大学院
2015/日本/49min<実写>

X県Z郡、化学工場の事故で汚染された地。絶望感に包まれる中、青年カントと親友の亀男は映像記録供給装置【フォルムスコープ】を発明する。しかし開発に使用した隕石の成分には恐ろしい副作用があった。2人の作品は何を映し出し、人々の心に遺し得るのか…。

プログラム C 99min

おかあさんにはないしょ /Don't tell Mom *



冠木 佐和子 /Sawako Kabuki
多摩美術大学
2015/日本/3min<アニメーション>

夜の教育エンターテインメント映像です。お兄さんと一緒に楽しく展開する歌や体操などを通して、情緒や表現、言葉や体などの発達を助けることをねらいとしています。

何も見なくていい /Nothing you need to see



伊藤圭吾 /Keigo Ito
大阪芸術大学
2015/日本/4min<アニメーション>

自らの顔面を内側に回転させ、何も見なくなる若者のお話です。日々、私は何を見ているだろうか。本当のことを見ているだろうか。見るべきものがあるだろうか。何も見なくていいのだろうか。

雲の屑 /King of fools *



中村祐太郎 /Yutaro Nakamura
多摩美術大学
2015/日本/92min<実写>

大学中退後、東京から地元に帰った卓夫は、姉と妹から疎まれ仕事も上手くいかないでいた。高校3年の卓夫の妹、聰子は狭い地元に飽き飽きし、都会へ出て行く事ばかり考えていた。同じ頃、不良の幸雄も東京から地元に戻り、後輩の浩輔の家に居着くようになる…。

※このプログラムには一部暴力的・性的表現が含まれる作品がございます。

プログラム D 71min

100 Apples



Chia-Yao Wang
National Chengchi University
2014/台湾/28min<実写>

イージエは、恋人シュアンへのプレゼントに悩んでいた。親切な絵の先生チェンチは、彼女に贈る絵の着想と一緒に探し求める。しかし突然チェンチは海外へ行くと伝え、イージエに100個のリンゴを描かせる。リンゴを1個描く度、彼は自分の隠れた感情に気付いていく。

かたすみの鱗 /Scutes on my mind



石谷恵 /Megumi Ishitani
東京藝術大学大学院
2015/日本/9min<アニメーション>

頭の片隅で鱗が光り、記憶の発掘を始める。迷子になった博物館で出会った館長は、どんな人だったろう。

I'm here



中内友紀恵 /Yukie Nakauchi
上水樽力 /Chikara Uemizutaru
東京藝術大学大学院
2015/日本/6min<アニメーション>

どこへ向かって良いのか分からなければ、どこかへ進まなくてはならない。何かを目指さなくてはならない。たえず形を変えながら漂う心は、目的を見つけることで成就へと駆け出していく。

The Bad Old Us



Lily Erlinger
Filmakademie Baden-Wurttemberg
2014/ドイツ/28min<実写>

これは主人公エイドリアンが家族と住む村、そして、そこで毎年行われるラッフルというクジ引き大会の伝統に関する話だ。この村は、村長と守衛の人生哲学に導かれ、一見平和そうに見える。しかしエイドリアンは、森の奥深くで耐え難い真実を目撃してしまった。

	11/21 Sat	11/22 Sun	11/23 Mon	11/24 Tue	11/25 Wed	11/26 Thu	11/27 Fri
16:45	プログラム A 16:45~18:55	プログラム B 16:45~18:55	芳泉文化財団 助成作品集 16:45~18:30	プログラム D 16:45~18:30	プログラム A 16:45~18:55	プログラム D 16:45~18:30	
18:00							
18:30							
18:55							
19:00							
19:25	Worldwide Collection 19:25~21:30	芳泉文化財団 助成作品集 19:25~21:10	プログラム C 19:00~21:10	京都企画 19:00~21:10	プログラム B 19:25~21:30	プログラム C 19:00~21:10	授賞式 18:00~21:30
21:10							
21:30							

最終審査員



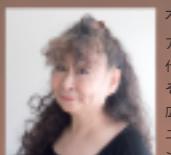
沖田修一 (おきた・しゅういち) [映画監督]

日本大学芸術学部卒業後、数本の短編作品を自主制作し、水戸短編映像祭グラントなど受賞。初の長編自主作品「このすばらしきせかい」(06)が劇場公開される。その後、TVドラマの脚本演出や、メイキングなどを経て、「南極料理人」(09)の監督と脚本を担当。新藤兼人賞金賞、藤本賞新人賞などを受賞。その後の監督作では「キツツキと雨」(12)、「横道世之介」(13)が公開され、ブルーリボン賞作品賞などを受賞。2014年「滝を見にいく」(14)が公開。



李鳳宇 (り・ほんう) [株式会社RESPECT(レスペクト)代表]

1960年京都生まれ。ヨーロッパ・アジアを中心に世界中の作品180本以上を配給。プロデュースした代表作に、キネマ旬報ベストテン第1位に輝いた『バッヂ!』(05)、日本アカデミー賞最優秀作品賞を受賞した『フラガール』(07)など。2012年に株式会社RESPECTを設立。近年の製作作品に『EDEN』、『イン・ザ・ヒーロー』がある。映画界への貢献を評価され、第29回日本アカデミー賞特別賞、第16回淀川長治賞などを受賞している。



木下小夜子 (きのした・さよこ) [アニメーション作家／プロデューサー]
アニメーション作家／プロデューサー。女子美術短期大学造形科卒業。70年代よりアニメーション・メディアを基軸に制作、教育・振興等を国際的に展開、その領域は映像芸術全般に及ぶ。代表作に『ビカドン』(78)等。1985年、広島国際アニメーションフェスティバルを企画・実現、総指揮を歴任。国際アニメーションフィルム協会(ASIFA)副会長、同日本支部会長。日本アニメーション学会顧問。大阪芸術大学客員教授。女子美術大学理事。